令和５年度　神戸大学博士学生フェロー申請書

１．申請者情報等

|  |  |
| --- | --- |
| 申請年月日 | 2022年12月\*日 |
| ふりがな | こうべ　たろう　（赤字は例・説明であり黒フォントで記入） |
| 氏　名 | 神戸　太郎 |
| 学籍番号 | \*\*\*X\*\*\*X |
| 電子メールアドレス | \*\*\*x\*\*\*x@stu.kobe-u.ac.jp （なるべく大学アドレスとする） |
| 生年月日 | 199\*年\*\*月\*\*日 |
| 学　歴（学部・修士） | 2017年4月　神戸大学工学部電気電子工学科入学2021年3月　同上卒業2021年4月　神戸大学大学院博士課程前期課程進学（工学研究科電気電子工学専攻）2023年3月　同上修了見込 |

博士課程後期課程/博士課程

|  |  |
| --- | --- |
| 入学年月 | 20xx年4月 |
| 研究科 | 工学研究科 |
| 専攻 | 電気電子工学専攻 |

現在の指導教員

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | 〇〇〇〇　〇〇〇〇 |
| 氏　名 | 〇〇　〇〇 |
| 職　名 | 教授 |
| 研究科 | 工学研究科 |
| 専　攻 | 電気電子工学専攻 |
| 電子メールアドレス | \*\*\*\*\*@\*\*\*\*.kobe-u.ac.jp |
| 応募に対する推薦 | 推薦を確認（指導教員の承諾を得ること） |

**【研究題目】**※40字以内（記号、数値、全角/半角に関わらずすべて１字として数える）で簡潔に記入

|  |
| --- |
| 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |

|  |
| --- |
| **２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。文字サイズ10.5ptとし，行間は変えても構いません。カラーを使用しても構いませんが，審査段階で白黒印刷とする可能性があります。**(1) 研究の位置づけ**（１頁に収めてください。）博士学生フェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。 |

|  |
| --- |
| **【研究計画】（続き）****(2) 研究目的・内容等**（２頁に収めてください。）　①博士学生フェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。 |

|  |
| --- |
| **３．【研究遂行力の自己分析】**（２頁に収めてください。）　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。 |

（※）本行を含め、赤字で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。

(1) 研究に関する自身の強み

（※）本行を含め、以下の赤字で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。

成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）

著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。

（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）

　　　　 著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）

(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

|  |
| --- |
| **４．【目指す研究者像等】**（１頁に収めてください。）　神戸大学博士学生フェローシップ制度は，文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の基，実施するものであり，同事業では，研究に対する意欲を有し，将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる博士後期課程進学者に対して，支援を行うことを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて博士学生フェローを付与された期間中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。 |

**(1)目指す研究者像** ※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)上記の「目指す研究者像」に向けて、博士学生フェローを付与された期間中に行う研究活動の位置づけ**